

第17回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和5年9月25日(月)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：長江委員、鈴木委員、吉田委員、近藤委員、稲葉委員、森本委員、内記委員、水野(豊)委員、加藤(裕)委員、加知委員、加藤(智)委員、前田委員、杉村委員、東山委員

事務局：教育長、副教育長
教育推進課 丹羽、南谷、田中、福岡
教育総務課 市川、高田、瀬瀬
教育研究所 久野
教育相談室 古川

【欠席者】

事務局：中島

(要点筆記)

開会	
会長	・第17回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・本日はお忙しい中第17回目の研究会にお越しいただき誠にありがとうございます。本日の会議から新たに加藤裕美委員に参加していただき、また校歌の作曲をしていただく陶都楽友協会所属、笠原在住の加納徳子さんが参加していただいております。後ほど自己紹介していただきます。只今議会が始まっており、29日に正式に笠原小中学校と校名が決まります。そして仮設校舎の住所や、令和8年度以降の笠原小中学校の住所も条例で決まる予定です。本日は建築設計が概ね終わりましたので、具体的な配置図の確認や、校歌・制服といったソフト面の検討、またワーキンググループでの話し合いについても皆様と共有し、意見を伺いたいと思います。私は10月で退任となりますが、10年間笠原の教育に関わらせていただきました。笠原の方々の教育への熱心さや英語教育を是非学校が新しくなっても伝えていただき、より良い学校を作っていただくことを期待しております。改めまして本日はよろしくお願いいたします。
次第2 自己紹介	
会長	・作曲家の加納徳子様、新任の委員の加藤様に自己紹介をしていただきたいと思います。

	(作曲家・委員自己紹介)
次第 3	笠原小中学校配置図について
会長	・ 次第 3 「笠原小中学校配置図」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)
会長	・ 只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 説明のあった建設費の中に仮設校舎の建設費用も含まれていますか。
事務局	・ はい。仮設校舎建設の費用も入っております。
委員	・ 道路を車がすれ違えるように拡大していただくと、子どもの登下校時に安全だと思いますがその点はいかがでしょう。
事務局	・ 道路河川課にも意見は伝えております。用地買収等できる限り拡張するよう進めております。
委員	・ 今まで通り平園の方から登校してくることも想定しているのでしょうか。
事務局	・ 中心となる生徒動線は上原・神戸・向島方面です。通学路との兼ね合いもありますので、上原・神戸・向島からの動線を基本として調整していきます。
委員	・ 職員も同様の動線、玄関で出勤ですか。
事務局	・ はい。職員玄関も生徒の昇降口の隣にあります。
委員	・ 平園方面もプール横の道路を通り多くの子どもたちが登下校しますの でそちらの動線を調整するのも頭に入れていただきたいと思います。
事務局	・ プールの横の通路も舗装と改修をする予定となっており、現在よりも 広く通行できるよう計画しております。
委員	・ その道は車も通れるような広さとなっていますか。
事務局	・ 緊急時等に通れるような広さで、プールの横を通りグラウンドまで入 れるようになっています。
委員	・ 学校内の安全管理のために校門は作りますか。
事務局	・ 門を設置して完全には入れないような形はとりません。ただし、プー ル側には上げ下げ式の車止めを設置するなど車両の制限等はしていくよ うに計画しています。
委員	・ 昨今侵入者等のニュースもあるので安全性の面もしっかり考えていた だく必要はあると思います。
事務局	・ 現状あるものを活用する等工夫し、お示しした建設費が今後さらに高 騰する可能性もあるため、費用等の面から作成するという断言はできま せんが、意見として検討材料の一つとさせていただきます。
委員	・ 何か起きてしまってからでは遅いので、慎重に検討していただきたい 部分ではあります。
事務局	・ 検討させていただきます。
委員	・ 小学生が使えるような遊具の設置はしていただけますか。
事務局	・ 仮設校舎には授業で使う鉄棒等は設置します。新校舎にもその鉄棒は

	移設させていただきますが、ブランコといったような遊具は、現在廃止している学校も多くあり、設置の有無はこれから詰めていきたいと思います。
委員	・今ある遊具は、建設の際に完全に撤去するということですね。仮設校舎に2年間通う子どもたちはストレスがたまるので、撤去ではなく移設してもよいのではないかと思います。が、中学校の校長先生いかがですか。
笠中校長	・そのようなお話も含めて仮設校舎の検討は進めておりまして、仮設校舎の場所とグラウンドの余剰部分に遊具は可能な限り作っていただくという話になっています。特に一輪車等は乗れる場所を確保したいと考えています。そのスペースで遊べるものに関しては検討いただけていると考えています。

次第4 笠原小中学校校歌について

会長	・次第4「笠原小中学校校歌」について事務局に説明を求めます。 (事務局説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・アンケートで出てきたフレーズを使って歌詞を作っていただくということですか。
事務局	・加納様と相談にはなるのですが、アンケートのフレーズを見て作詞をしてから作曲していただくのか、フレーズを見て作曲するのかは今回加納さんに資料を見ていただき、また委員の皆様の意見を聞いていただき決めていければと思います。
委員	・多治見市内の小中学校の校歌の長さ等様々なものがありますが、具体的に作詞・作曲していく上での曲の長さや何番まで作るのかといった取り決めはありますか。
事務局	・今の段階では特に決めておりません。児童生徒から出てきたフレーズを受け止め、どのように校歌に落とし込んでいくかという段階です。作成の行程は先ほど話しました通り、加納様との相談となります。
委員	・加納様ご意見いただいてもよろしいでしょうか
加納様	・フレーズを見ているだけでは中々作曲できないので、まとまった歌詞があるとありがたいです。笠原に思いの深い方々が作詞する、あるいはたたき台のようなものがあれば作成しやすいです。
会長	・加納様の意見を参考に事務局の方で検討していただきたいと思います。

次第5 検討状況について

会長	・次第5「検討状況」について事務局に説明を求めます
----	----------------------------------

	(各ワーキンググループ検討状況について報告・説明)
会長	・只今の報告・説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・開校後に、義務教育学校以前の学生服の扱いはどのようになりますか。
事務局	・制服が変更となった場合についてですが、令和８年度から数年間は移行期間として既に使っている学生服を使い続けるか、新しいものに切り替えるかは選択制で、新たに購入はしないように配慮はしたいと思います。
委員	・資源回収についてです。現在も小中合同でやっていますが、笠原小学校のグラウンドを来年は使えないと聞いています。資源回収の時期に開放していただけるのでしょうか。またNPOまいて・笠原幼保小中連合PTAは笠原の子どもたちのための活動をしており、その資金の一部は資源回収の収益からで、資源回収がないとその活動ができないのでその点お伺いしたいです。
事務局	・グラウンドが使えないというのは教頭ワーキンググループではまだ話題になっていなかったので研究会で出た意見としてワーキンググループで話し合います。資源回収がまいて様の活動資金となっていることは教頭先生方も承知していますし、学校としても資源回収からのお金は大事になっている一方で、時代に合った方法も検討していく必要があると話題になっています。今伺ったことを改めて教頭ワーキンググループの検討材料とさせていただきます。
委員	・制服は現状のように中学生となる年の子たちが着用ということでよろしいでしょうか。小学校も制服を着ることは検討されていますか。
事務局	・制服は現行と同じ中学生の年代である７～９年生からの着用を考えています。小学生については考えておりません。
委員	・中学生は平日の放課後に部活動をやっていますか。
笠中校長	・現在は、以前のイメージのように毎日放課後にあるというわけではなく、日課の中で部活動の時間を設けています。
委員	・放課後に児童生徒が運動場で遊んでいることや、学童保育の時間に児童が運動場で遊んでいる可能性があると思いますが、部活動の時間と重なることはありますか。
笠中校長	・放課後にグラウンドで遊んでいるようなことは、現状の様子を踏まえるとならないと思います。後者についてもないと考えています。おそらくグラウンドは学童保育の時間には広く使っていただけるスペースとなると思います。
委員	・PTAに関することは教頭ワーキンググループの中だけで決めるのですか。
事務局	・義務教育学校となった際の実案や骨組みは提案させていただくこともありますが、詳細は各PTAで話し合っていたきながら、学校と相談

委員 笠中校長	していくことだと捉えています。教頭ワーキンググループでも意見を挙げさせていただきますので、ぜひまた P T A の方々の意見を共有していただけるとありがたいです。 ・仮設校舎の際、昼休み等は小中学校一緒の時間になるのでしょうか。 ・現在日課表の作成を行っていますが、20 分間休みは小学校が優先して使うことになると思います。お昼休みは一緒の時間となるので小中一緒に共有して遊ぶ形になると思います。
笠小校長	・20 分間休みについては中学校の体育の授業が重ならないように日課表を組むようにお願いをしています。
委員 事務局	・小中学校で時間がずれてしまうのですね。 ・小学校は 45 分授業、中学校は 50 分授業でずれてしまうので、そこをできるだけずれないように日課表を合わせて、現在大体出来上がってきているのですが、現状 20 分間休みはフリーで小学生が使えると思います。
次第 6 その他について	
会長	・次第 6 「その他」について事務局に説明を求めます (事務局説明) ・北方町立南学園視察：10 月 16 日（月） ・次回開催：12 月 18 日（月）
副教育長挨拶	
会長 副教育長	・最後に、副教育長よりご挨拶を願います。 皆様本日はありがとうございます。令和 8 年度の開校にあたり、まだまだ考えていかなければいけないことが多くあると感じています。そしてハード・ソフトどちらでも言えることですが、校舎ができ引っ越しをして終わりではなくそこからスタートとなるため、開校してから数年、様々なことが馴染んでくるまでは気を抜くことができないと感じております。ぜひ委員の皆様方には、この研究会で話題になったことを様々な場でお話いただき、子どもだけでなく笠原の地域の方々、更には市内の方々にも笠原小中学校のことを考えていく機会を提供していただきたいと思っております。今は課題や不安が多くありますが、いずれはそれが期待や希望に変わるときが必ず来ると思いますので、長丁場となりますが共に頑張っていただければと思います。改めて本日はありがとうございました。
閉会	
会長	・以上で、第 17 回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。

—以上—